

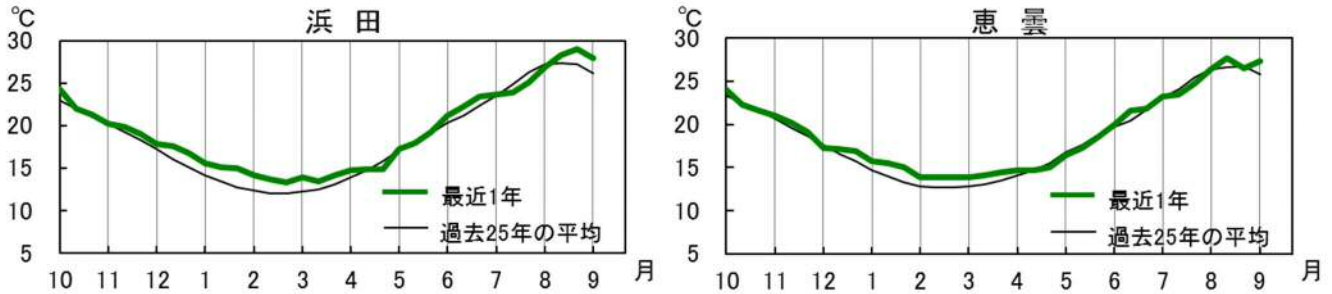


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《8月の海況》



8月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	28.1°C	+0.9°C	平年並み	26.9°C	+0.3°C
中旬	平年並み			やや高め		
下旬	やや高め			平年並み		



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は9.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは151トンで平年の9割、サバ類は40トンで平年の4割、ブリは15トンで平年の4.6倍となりました。隠岐地区ではブリ、マアジ、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は18.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは1,245トンで平年の1.3倍、マアジは623トンで平年の9割、マイワシは309トンで平年の4割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の98%)主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は49.8kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の93%)主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は60.9kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、ムシガレイ、アンコウを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は10.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、アカムツは平年の2.3倍、ムシガレイは平年の2割、アンコウは平年の7割でした。その他、ヤナギムシガレイは平年の1.4倍だった一方、ソウハチは平年の9割、マトウダイは平年の6割、キダイは平年の4割、アナゴ・ハモ類は平年の3割、スルメイカは平年の6割、ケンサキイカは平年の1割の水揚げでした。

【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に総漁獲量は11.3トンで平年の7割、1隻1航海当たりの漁獲量は808kgで平年の9割でした。エッチュウバイの漁獲量は9.0トンで平年の9割、1隻1航海当たりの漁獲量は641kgで平年の8割でした。銘柄別漁獲量では「中」、「中大」および「大」が全銘柄の7割を占めました。

【しいら漬漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬漁業はシイラ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は869kgを下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは16.2トンで平年の4割となり、ヒラマサは3.9トンで平年の1.3倍でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、ブリ、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は10.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の3割、ブリは5割、マアジは7割でした。石見地区ではカンパチ、マアジ、ヒラマサ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は8.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カンパチは平年の5.2倍、マアジは5割、ヒラマサは5割でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は12.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.0倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、マダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.6kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の5割、マダイは5割でした。石見地区ではケンサキイカ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は13.8kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の5割、ヒラマサは1.1倍でした。隠岐地区ではケンサキイカ、キントキダイ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.0kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の1.6倍、キントキダイ類は2.4倍でした。

【令和2年8月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類、ブリ	233トン	80%	76%	9.0トン	92%	63%	▲
	隠岐	ブリ、マアジ、マイワシ	2,544トン	113%	76%	18.0トン	93%	69%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	3.2トン	126%	27%	49.8kg	178%	45%	▲
	西郷	スルメイカ	2.3トン	12%	19%	60.9kg	27%	69%	○
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、ムシガレイ、アンコウ	119トン	107%	86%	10.8トン	88%	97%	○
ばいかご	石見	エッチュウバイ	11.3トン	73%	65%	808kg	88%	91%	▲
しいら漬け	石見	シイラ、ヒラマサ	20.8トン	49%	46%	869kg	62%	56%	▲
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、ブリ、マアジ	134トン	57%	58%	10.3トン	57%	58%	▲
	石見	カンパチ、マアジ、ヒラマサ	33トン	65%	54%	8.3トン	65%	54%	▲
	隠岐	ブリ	38トン	98%	109%	12.7トン	98%	109%	○
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、マダイ	29.4トン	76%	58%	17.6kg	82%	78%	▲
	石見	ケンサキイカ、ヒラマサ	24.0トン	73%	59%	13.8kg	79%	77%	▲
	隠岐	ケンサキイカ、キントキダイ類	18.6トン	120%	105%	20.0kg	100%	105%	◎

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1統当り漁獲量です。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ